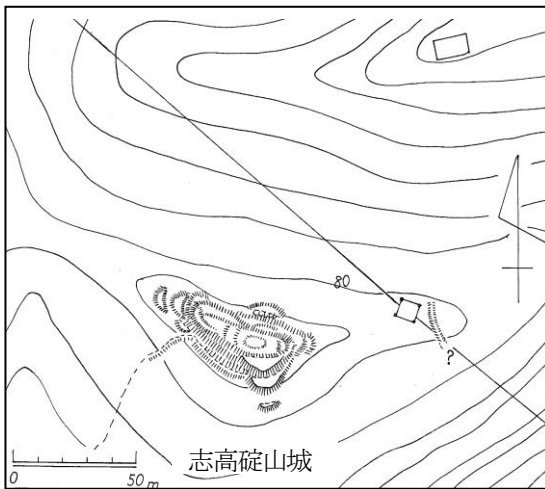


し だ かい かり や ま じ ょ う
No.110 志高 碓 山 城

舞鶴市字志高小字碓山他

- ・遺構---曲輪 ・占地---山頂
- ・標高---90m ・比高---85m
- ・遺跡地図番号---109

この城は三日市集落の対岸の山頂に位置する。遺構は自然地形が主で、加工された部分が少ない。東部の尾根先に堀切痕が残る。城主に関する伝説や記録はない。

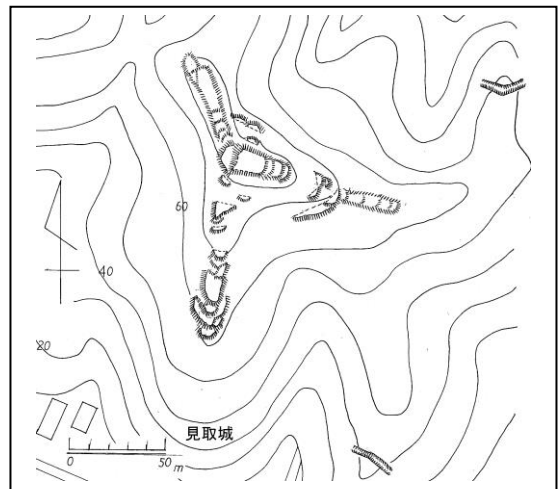


み と り じ ょ う
No.111 見取 城

舞鶴市字志高小字見取他

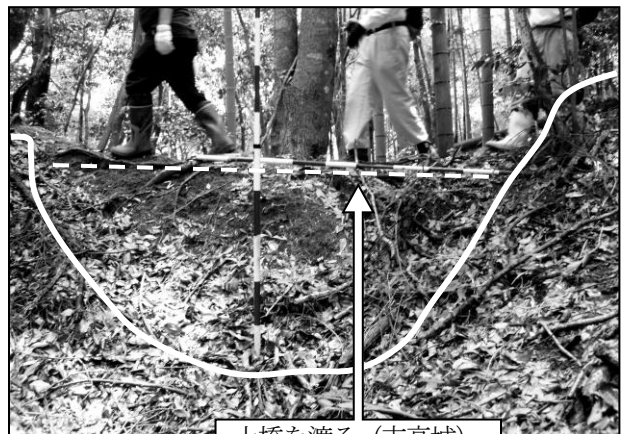
- ・遺構---曲輪、堀切 ・占地---山頂
- ・標高---80m ・比高---75m
- ・遺跡地図番号---110

この城は志高城の北100m程に位置し、田辺から真壁峠・由良川の渡しを経て当地に至り富室へと続く道を押さえている。遺構は標高80mから30mまでの広範囲に広がる。削平された部分は尾根上に分散しており、陣城的要素が強い。城主に関する記録や伝承はない。



土橋をつくる場所
(「築城記」より)

「築城記」では、城の大手には土橋をつくるべきだとしている。堅堀の上に木の橋をかけておいたのでは、いざというときに敵に橋を焼かれて、味方が城の中に閉じこめられるからだ。一方、搦め手は板の架け橋でもよい。しかし、どちらにしても城の様子によるとしている。(7)



土橋を渡る (志高城)